

事業所名

特定非営利活動法人基本塾 基本塾優遊 八坂西

支援プログラム（放課後等ディサービス）

作成日

2025年

2月

17日

法人（事業所）理念	基本理念＜安全・笑顔・自信・感謝＞基本理念達成のための基本方針 1 日常の中で様々な困難を抱えている子どもたちの原因を探る。○見立ての重要性○幼稚園・保育園・学校との連携 2 B（脳）・H（心）・B（体）活動の実施○専門家による言語訓練、コミュニケーションスキルを高める等のトーク活動○五感を鍛える活動○感覚統合の実施○個に合わせた学習支援○心 理面からの心の交流 3 研修（発達障害の心を知る研修）の充実 アイメッセージの徹底○外部講師招聘しての所長研修、児童支援者研修、個別面談の実施、保護者学習会						
支援方針	①利用者が本来持っている力を引き出し学習するための「基礎力」を学びます。 ④保護者対象の学習会で子どもの理解や困りごとへの対応をします。 ②人との関わりを円滑にする「スキル」を学びます。 ⑤学校等と連携をとり、関わる全ての人が同じように対応できるようにします。 ③親子で共通の話題に取り組む体験を提供します。						
営業時間	9時	00分	18時	00分	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	健康な生活習慣や日常における基本的な動作や自立を促していく。 ・来所時毎に体温測定や気分の状態を把握する。検温で37.5℃以上、気分がすくれない等ある場合、保護者に連絡し連携を図る。 ・運動時はできるだけ全身運動を取り入れ行う。 ・定期的な防災訓練を行い災害時に備える。 ・構造化を意識し掲示やレイアウトを行う。 ・マナーや身だしなみを身につけ身辺自立の向上を支援する。					
	運動・感覚	感覚の特性への対応や姿勢の保持、運動時の体の動かし方を支援し日常生活における支障を軽減し自己肯定感を高めていく。 ・座る姿勢や文字を書く時、話を聞く姿勢を支援する。 ・作業療法士指導のもと指先の訓練や道具を使用した訓練を行い体幹保持やバランス感覚を養って行く。 ・運動時体を正しく動かし体幹を鍛え柔軟性を養う支援をする。 ・理学療法士による個々の相談や具体的な訓練方法等を相談して行く。 ・指先の細かい動きなどを取り入れた活動や道具を使用した活動を取り入れ感覚統合を支援する。					
	認知・行動	個人の発達レベルに応じた支援に取り組み状況に合わせた対応力を養っていく ・一日の予定、時間帯ごとの活動を示すタイムテーブルの確認による認知の形成 ・季節の変化等、興味関心が持てるような屋内外での活動 ・集団活動の中における適切な行動形成 ・制作活動の中で物の位置や方向などの声掛けを行い空間把握の認知の形成 ・認知の偏りへの配慮					
	言語 コミュニケーション	適切なコミュニケーション能力の獲得社会生活における関係性の向上を行う。 ・基本的なあいさつが自然に出るように、あいさつを習慣化できるよう支援する。 ・トラブルが起きた時の問題解決方法や感情のコントロールができる支援を行う。 ・障がいの特性に応じた読み書きや、相手に対しての適切な伝え方の向上に繋がるように発達のレベルに合わせて支援する。 ・言語聴覚士の指導のもと自発性を尊重しながら発声や発語訓練を行う。 ・ルールなどを発達レベルや障がいの特性に合わせて絵や図にし視覚化する					
	人間関係 社会性	ルールに合わせた行動や他者との関係性の向上を図り、社会生活における適応力や対応力を養う ・自分以外の様々な人がいることに気づき他者と一緒に行動できるように活動を支援していく。 ・公共の場でのルールを理解できるような屋外での活動を取り入れ支援していく。 ・活動の中で決まり事やルールを設け重要性を理解していく支援をおこなう。					
家族支援	定期的な保護者に向けての学習会の取り組み、児童期、学齢期の成長や発達に対する家族の抱える葛藤に対し関係機関と連携しサポートを行う。			移行支援		本人のライフステージに合わせた移行準備や相談、地域との繋がりを一緒に考えサポートを行う。	
地域支援・地域連携	保育園や幼稚園、学校、福祉サービス等の事業所と連携し子どもや家族にトータル的にサポートを行う。			職員の質の向上		山武圏域自立支援協議会障害児部会放課後等ディサービス連絡会の参加虐待防止や感染症についての社内外の研修の参加や取り組み、外部講師による研修を行い子供の理解を深める取り組みを行う。	
主な行事等	季節に合わせた活動や行事ごと防災訓練、法人内全事業所を対象とした発表会等の行事						